対象事業の論点に対する評価区分について

事業番号	3	事業名	安祥閣施設管理事業

論点	安祥閣の今後の方向性については、現在把握している施設の不具合や構造上の課題、今後の維持管理コスト及び本市の財政状況等を総合的に勘案し、施設の改修、建て替え、あるいは統廃合も含め、幅広い選択肢について検証したところ、費用対効果の視点から市としては安祥閣をやむを得ず廃止することも含めて検討しています。そこで、安祥閣を廃止することの是非と茶文化を継承していくための事業を他の公共施設等で実施していくことについて、市民目線でのご意見をいただきたいです。

評価区分	評価内容 ※下段は論点に対する評価区分の例を表しています。	方向性
拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させる 【例】安祥閣は市の歴史と文化を象徴する施設。多額の費用を投じてでも全面的な大規模改修（または建て替え）を実施し、文化拠点として再生すべき。	建て替え 又は 大規模改修
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要がある（実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等） 【例】大規模改修を行うのであれば、単に施設を維持するだけでなく、その投資効果を最大限に高める努力が必要である。より積極的な利活用等運営改善を求める。	大規模改修 ＋ 運営方法改善
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続する 【例】 方針や手法等を維持・継続し、現行どおり実施する。	大規模改修
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの 【例】本施設は廃止し、その機能は他の公共施設に統廃合することでより費用対効果の高い行政運営を目指す。	施設廃止 機能統合
廃止	事業を廃止する 【例】築45年以上が経過し、利用者も限定的。他の優先すべき市民サービスに比べて優先度は低い。施設も事業内容も不要と判断し、事業を廃止する。	施設廃止